

令和元年

加古川の水質現況

令和2年7月加古川水質汚濁防止協議会

～ 目 次 ～

1. 加古川流域の概要	1
1) 流域の概要	1
2) 流域の社会状況	2
2. 加古川の利水現況	3
1) 概要	3
2) 加古川の流況	3
3) 利水の現況	4
3. 加古川の水質調査	5
1) 水質汚濁源	5
2) 水質調査	7
3) 測定結果	12
(1) 板波（板波橋）	12
(2) 大住橋	13
(3) 国包（上荘橋）	14
(4) 池尻（加古川橋）	15
(5) 相生橋	16
(6) 古川橋	17
(7) 西脇橋	18
4) その他の水質調査	20
(1) 糞便性大腸菌群数調査結果	20
(2) 水生生物による水質調査	21
4. 水質汚濁対策の現況	24
1) 環境基準	24
2) 排水規制	24
3) 下水道整備状況	25

1. 加古川流域の概要

1) 流域の概要

■幹線流路延長は11市3町で96km、流域面積が1,730km²

加古川は、その源を兵庫県朝来市山東町と丹波市青垣町の境界にある粟鹿山(標高962m)に発し、丹波市山南町において篠山川を合わせ、西脇市において杉原川と野間川を、小野市において東条川、万願寺川を合わせ、更に三木市において美嚢川を合わせながら播州平野を南下し、加古川市尾上町、高砂市高砂町向島で瀬戸内海播磨灘へと注ぐ幹流流路延長96km、流域面積1,730km²の一級河川である。

■日本一低い標高95m丹波市氷上町の「水分かれ」中央分水嶺

加古川流域には、流域内の最高峰である千ヶ峰(標高1,066m)をはじめとする山地が流域上流部に連なっており、これらの谷間に篠山盆地等の広い平地がみられる。また、流域上流部には河川紛争によって形成された谷中分水界が4箇所あり、丹波市氷上町石生の「水分かれ」は標高95mと全国一低い中央分水嶺として有名であるとともに、付近の低地帯を含めて「氷上回廊」と呼ばれ太平洋側と日本海側の生物が混交し、生息域を拡げたルートであるとされている。

■地質は、上・中流部の山地の大部分が有馬層群、平野部の大部分には堆積土

加古川流域の地質としては、流域上・中流部の大部分の山地は有馬層群(生野層群を含む)と呼ばれる白亜紀後期の流紋岩質溶結凝灰岩から成るが、流域上流部の篠山川～加古川(佐治川)にかけての地域と流域中流部右岸は二畳紀の超丹波帯、ジュラ紀の丹波層群及び白亜紀前期の篠山層に属する砂岩、頁岩、チャート等から構成されている。流域中・下流部の丘陵地と台地には有馬層群(相生層群を含む)、古第三紀の神戸層群(砂岩、礫岩、凝灰岩)及び鮮新世後期～更新世中期の大阪層群(砂礫、砂、シルト、粘土)等が分布し、河川沿いには段丘堆積層(砂礫、砂、シルト、粘土)が形成されている。

■気候は、上流部では日本海型、下流部では瀬戸内型

流域の降水量、気温の特徴は大きく流域上部と流域中・下流部の2つに分かれる。流域の年間降水量は、流域上流部では約1,600mmと全国平均と同程度である一方、流域中・下流部では約1,200mmと少なく、瀬戸内海式気候となっている。

流域の自然環境は、上流域の一部が多紀連山県立自然公園、朝来群山県立自然公園、笠形山千ヶ峰県立自然公園に、中・下流域の一部が清水東条湖立杭県立自公園、播磨中部丘陵県立自然公園に指定されており、四季折々の変化が豊かな景観をつくり出している。

2) 流域の社会状況

流域内関係市町人口は240万人で兵庫県人口の約43%を占めている。人口の推移は、平成23年を境としてわずかではあるが減少傾向にある。

流域内の産業は、平成30年の流域内関係市町の全体の製造品出荷額において77,414億円となっており、兵庫県全体の約47%を占めるなど極めて重要な役割を果たしている。

表－1 流域市町の人口

市町	S45年 (S45.10) (人)	H28年 (H28.1) (人)	H29年 (H29.1) (人)	H30年 (H30.1) (人)	R元年 (H31.1) (人)	R2年 (R2.1) (人)	増加率		面積 km ²	人口密度 人/km ²
							R2/R元	R2/S45		
神戸市	1,288,901	1,537,481	1,535,161	1,531,691	1,526,639	1,522,273	1.00	1.18	557.02	2,733
加古川市	140,344	267,355	266,341	264,951	263,516	262,164	0.99	1.87	138.48	1,893
高砂市	68,900	90,919	90,332	89,582	88,721	88,024	0.99	1.28	34.38	2,560
小野市	37,623	48,557	48,329	48,182	47,993	47,737	0.99	1.27	92.94	514
三木市	49,071	77,136	76,657	76,268	75,727	75,092	0.99	1.53	176.51	425
加西市	48,354	44,243	44,001	43,557	43,405	42,978	0.99	0.89	150.98	285
西脇市	45,964	40,775	40,347	39,870	39,560	39,105	0.99	0.85	132.44	295
三田市	33,090	112,607	112,405	112,084	111,427	110,554	0.99	3.34	210.32	526
丹波篠山市	43,428	41,413	41,083	40,605	40,267	39,829	0.99	0.92	377.59	105
丹波市	72,441	64,565	63,812	62,165	62,412	61,654	0.99	0.85	493.21	125
加東市	32,149	40,328	40,686	40,650	40,541	40,702	1.00	1.27	157.55	258
多可町	26,282	21,152	20,818	20,503	20,021	19,660	0.98	0.75	185.19	106
計	1,886,547	2,386,531	2,379,972	2,370,108	2,360,229	2,349,772	1.00	1.25	2,706.61	868

注) ・兵庫県資料(<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk11/jinkou-tochitoukei/suikējinnkou.html>)による
 ・平成28年から令和2年の人口は令和2年6月に兵庫県ホームページに掲載されている数値にしてあります。

2. 加古川の利水現況

1) 概要

■農業用水を主体として利用され、下流部では東播磨臨海工業地帯の工業用水を供給

食糧増産を目的とした戦後の農地開発とかんがい用水確保のため、昭和20年代より国営土地改良事業(東条川地区(鴨川ダム建設)、加古川西部地区(糶屋ダム建設)、東播用水地区(川代ダム、大川瀬ダム、呑吐ダム建設)が進められた。また、昭和28年には播磨臨海工業地帯が工業整備の特別地域の指定をうけたことから、これら工業地帯に対する用水供給事業として県営加古川工業用水道事業が昭和33年より始められ、同年より平荘ダムが、昭和44年より権現ダムの建設が進められた。さらに、加古川市域の急速な人口増加により逼迫する生活用水の確保と加古川下流域の利水安全度の向上等を図るために昭和56年より加古川大堰の建設が進められた。

現在、加古川の水は、近畿農政局の国営加古川水系広域農業水利施設総合管理事業による農業用水の供給、兵庫県企業庁の加古川流域内外市町への水道供給事業、加古川工業用水道事業など多岐にわたって利用されており、東播磨地域の発展に欠かせない水源となっている。

2) 加古川の流況

加古川の利水上の基準地点は国包で流況は、表-2のとおりである。

また板波及び国包の月別平均流量を示すと表-3のとおりである。

表-2 国包地点流量状況表

(m³/sec)

年	最大	最小	豊水	平水	低水	渇水	年平均	備考
27	4,320.26	4.54	55.86	29.69	19.97	11.14	57.50	
28	2,147.87	9.17	44.66	23.97	15.67	10.76	55.87	
29	3,714.46	7.03	33.18	20.86	13.93	9.07	50.15	
30	3,913.15	7.72	39.92	19.81	12.72	8.90	50.15	
R元	419.38	7.14	24.71	15.96	10.80	7.93	25.23	
5ヶ年平均	-	-	39.67	22.06	14.62	9.56	47.78	

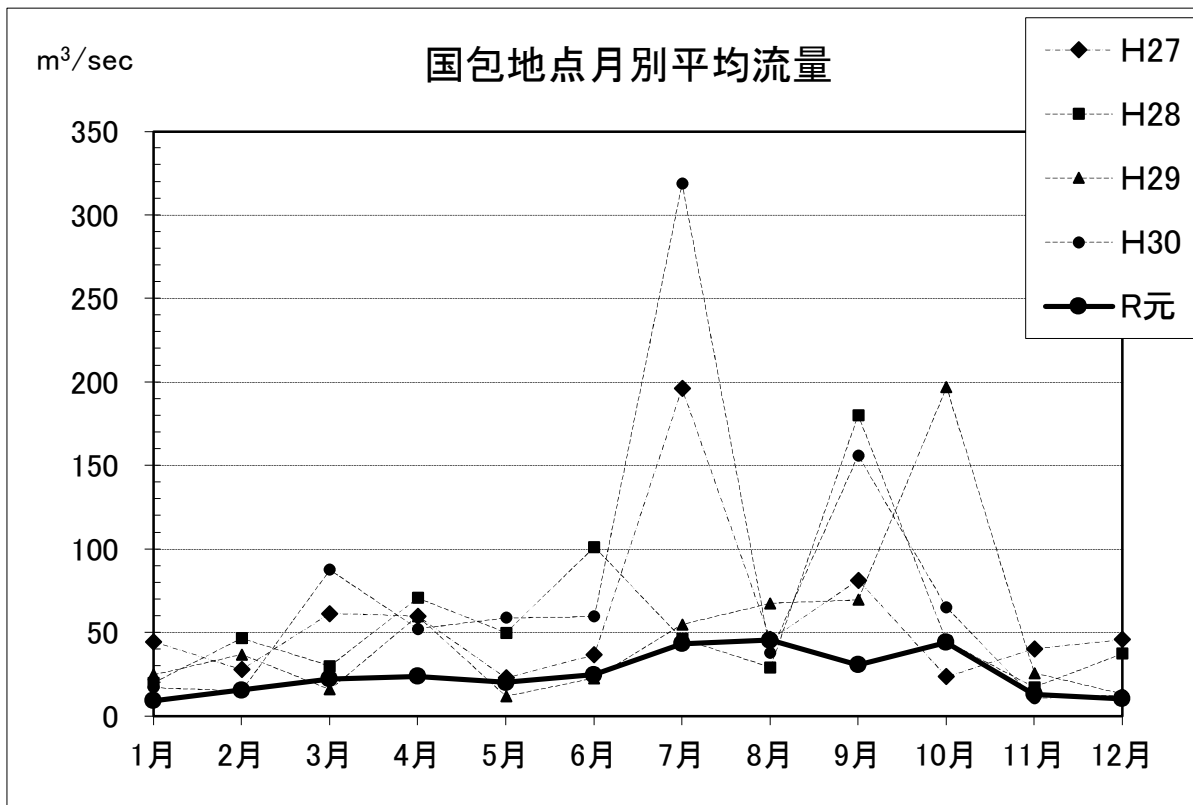
注) 加古川大堰データによる。

表-3 月別平均流量

(m³/sec)

地 点	板 波					国 包				
	年度	H27	H28	H29	H30	R元	H27	H28	H29	H30
1月	35.44	15.32	20.83	15.16	8.46	44.62	20.02	24.87	17.16	9.32
2月	19.47	37.18	27.15	13.27	13.98	27.83	46.59	36.82	15.08	15.37
3月	41.24	20.78	15.62	49.60	15.91	61.37	30.04	16.08	87.73	22.12
4月	38.75	50.87	36.44	32.55	15.25	59.84	70.84	59.88	52.24	23.75
5月	13.74	37.25	10.11	31.50	12.77	22.90	50.01	11.95	58.95	19.96
6月	24.15	73.15	14.28	30.96	13.37	36.73	101.22	22.78	59.79	24.60
7月	105.73	29.51	39.78	151.96	24.04	196.11	46.23	54.92	318.75	43.26
8月	26.56	20.02	56.27	19.10	21.65	45.88	29.25	67.62	38.15	45.42
9月	51.34	109.70	48.89	71.11	20.89	81.30	180.23	69.65	156.04	30.54
10月	14.03	33.32	122.41	35.82	25.69	23.75	44.74	196.97	64.99	44.05
11月	25.59	10.45	18.38	8.43	2.72	40.39	17.38	25.72	10.68	12.99
12月	25.26	27.38	7.03	9.53	0.79	45.99	37.50	13.15	12.68	10.19
平均	35.11	35.24	38.51	39.33	14.63	57.23	56.17	50.03	74.35	25.13

注) 平成27年から平成30年の値は確定値。平成31・令和元年は暫定値。国包は加古川大堰データによる。



3) 利水の現況

直轄区間における全ての利水権と指定区間の特定水利権は表-4に示すように最大で、上水道用水1.574 m³/s(6.2%)、工業用水 13.660m³/s(53.9%)、農業用水 10.082m³/s (39.8%)、その他 0.029m³/s(0.1%)で合計 25.345m³/sとなっている。

表-4 加古川利水状況 (m³/sec)

用水別	国包地点上流		国包地点下流		計	
	件数	最大取水量	件数	最大取水量	件数	最大取水量
上水道用水	0	0.000	4	1.574	4	1.574
工業用水	0	0.000	3	13.660	3	13.660
農業用水	4	2.071	4	8.011	8	10.082
その他	-	-	1	0.029	1	0.029
計	4	2.071	12	23.274	16	25.345

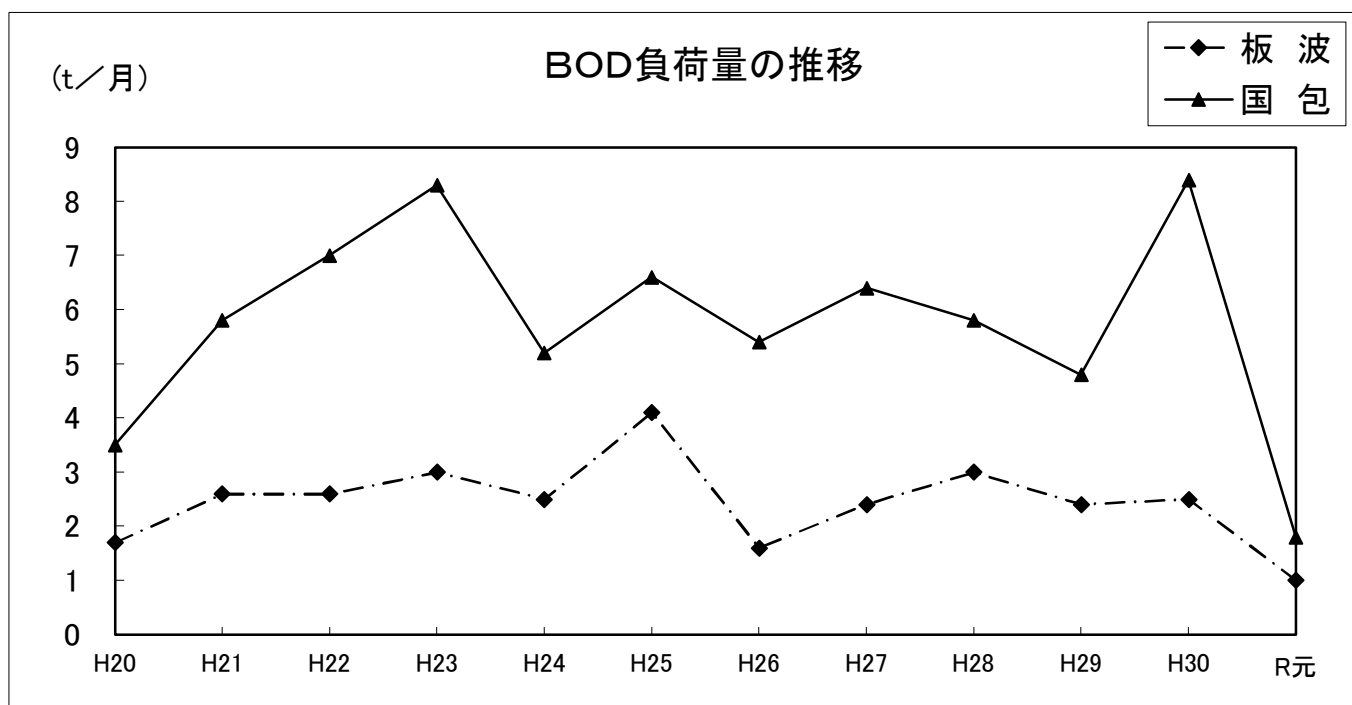
3. 加古川の水質調査

1) 水質汚濁源

BOD実測負荷量の推移を表-5に示した。

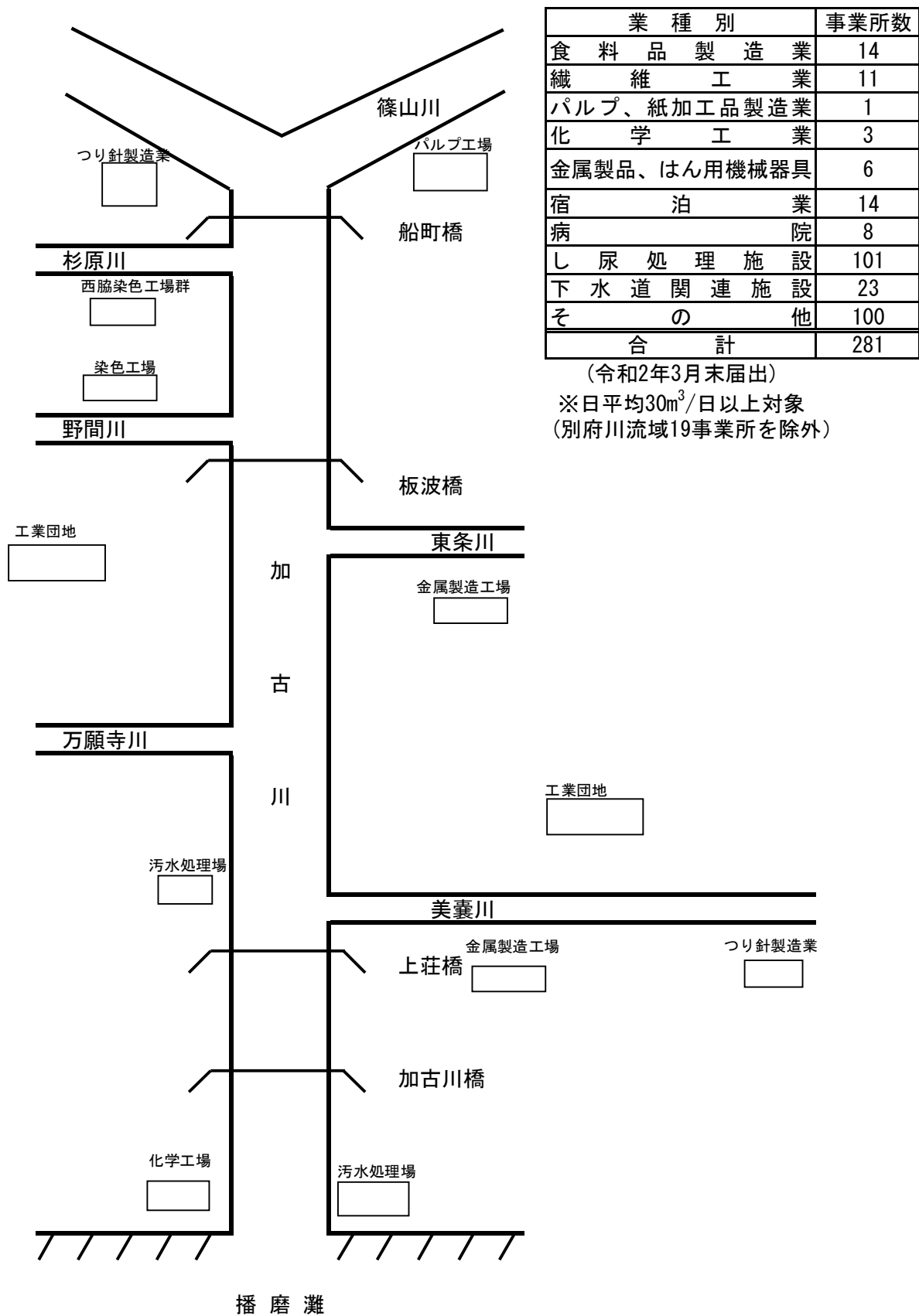
表-5 主要地点のBOD負荷量の推移

年	(t/月)											
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
板波	1.7	2.6	2.6	3.0	2.5	4.1	1.6	2.4	3	2.4	2.5	1.0
国包	3.5	5.8	7.0	8.3	5.2	6.6	5.4	6.4	5.8	4.8	8.4	1.8



流域内の水質汚濁の発生源は、産業排水、生活排水及び畜産排水の三つが主要因である。日平均排水量30m³以上の特定事業場数は281である。
加古川水系に位置する主な水質汚濁源を図-1に示した。

図-1 水質汚濁防止法、瀬戸内海環境保全特別措置法対象事業場



業種別	事業所数
食料品製造業	14
繊維工業	11
パルプ、紙加工品製造業	1
化学工業	3
金属製品、はん用機械器具	6
宿泊業	14
病院	8
し尿処理施設	101
下水道関連施設	23
その他	100
合計	281

(令和2年3月末届出)

※日平均30m³/日以上対象
(別府川流域19事業所を除外)

2) 水質調査

令和2年度における加古川水系の水質測定計画に基づき実施している測定地点は下記のとおりである。

(国土交通省、兵庫県、神戸市、加古川市における水質測定地点)

河川名	測定地点	実施機関	備考
加古川上流	芦田橋	兵庫県	A-イ
加古川上流	錦橋	兵庫県	A-イ
加古川上流	井原橋	兵庫県	環境基準点A-イ
加古川下流	船町橋	兵庫県	B-ロ
加古川下流	板波(板波橋)	国土交通省	環境基準点B-ロ
加古川下流	大住橋	国土交通省	B-ロ
加古川下流	国包(上荘橋)	国土交通省	B-ロ
加古川下流	池尻(加古川橋)	国土交通省	環境基準点B-ロ
加古川下流	相生橋	国土交通省	B-ロ
篠山川	京口橋	兵庫県	
篠山川	上滝井堰	兵庫県	
篠山川	山崎橋	兵庫県	
杉原川	春日橋	兵庫県	
野間川	岩井橋	兵庫県	
千鳥川	平安橋	兵庫県	
東条川	永続橋	兵庫県	
東条川	古川橋	国土交通省	
万願寺川	西脇橋	国土交通省	
下里川	北条橋	兵庫県	
美囊川	美囊川橋	兵庫県	
大沢川	万歳橋	神戸市	
淡河川	万代橋	神戸市	
志染川	坂本橋	神戸市	環境基準点B-ロ
別府川	十五社橋	加古川市	環境基準点C-ハ
別府川	別府橋	加古川市	C-ハ
小川	山角橋	加古川市	
西川	小山橋	加古川市	
草谷川	上西条橋	加古川市	
曇川	高田橋	加古川市	
計	29地点		

(一般市・町における水質測定地点)

129地点

河川名	測定地点	実施機関	河川名	測定地点	実施機関
加古川	緯度橋	西脇市	万勝寺川	下河原橋	小野市
加古川	船町橋	西脇市	万勝寺川	流末	小野市
加古川	大門橋	小野市	万願寺川	西脇橋	小野市
加古川	粟田橋	小野市	万願寺川	鎌崎橋	加西市
加古川	万歳橋	小野市	万願寺川	栄通橋	加西市
加古川	樫山町	小野市	万願寺川	原 橋	加西市
加古川	加古川堰堤	高砂市	万願寺川	高橋	加西市
加古川	相生橋	高砂市	桜谷川	流 末	小野市
加古川	青垣大橋	丹波市	東条川	今田町今田	丹波篠山市
芦田川	大野橋	丹波市	東条川	大川瀬(市境)	三田市
葛野川	犬岡小橋	丹波市	東条川	東条川最上流	加東市
柏原川	小橋	丹波市	東条川	西戸川	加東市
竹安川	新池橋	丹波市	東条川	少分谷川	加東市
柏原川	高橋	丹波市	東条川	明治池川	加東市
篠山川	兵庫パルプ工業横	丹波市	東条川	秋津上水取水口	加東市
篠山川	大山下	丹波篠山市	東条川	神山川	加東市
宮田川	黒田	丹波篠山市	東条川	鴨川	加東市
四斗谷川	今田町釜屋	丹波篠山市	東条川	越道川	加東市
黒石川	今田町黒石	丹波篠山市	東条川	清水スポーツガーデン上流	加東市
黒石川	今田町本荘	丹波篠山市	東条川	五所ヶ谷	加東市
中谷川	流末	小野市	東条川	永福川	加東市
山田川	小倉下井堰	小野市	東条川	岩屋上水取水口	加東市
前谷川	流 末	小野市	東条川	木谷川	加東市
広島川	流 末	小野市	東条川	大谷川(大谷新橋)	加東市
大島川	流 末	小野市	東条川	厚利川	加東市
万勝寺川	万勝寺町	小野市	東条川	大畑川	加東市

(一般市・町における水質測定地点)

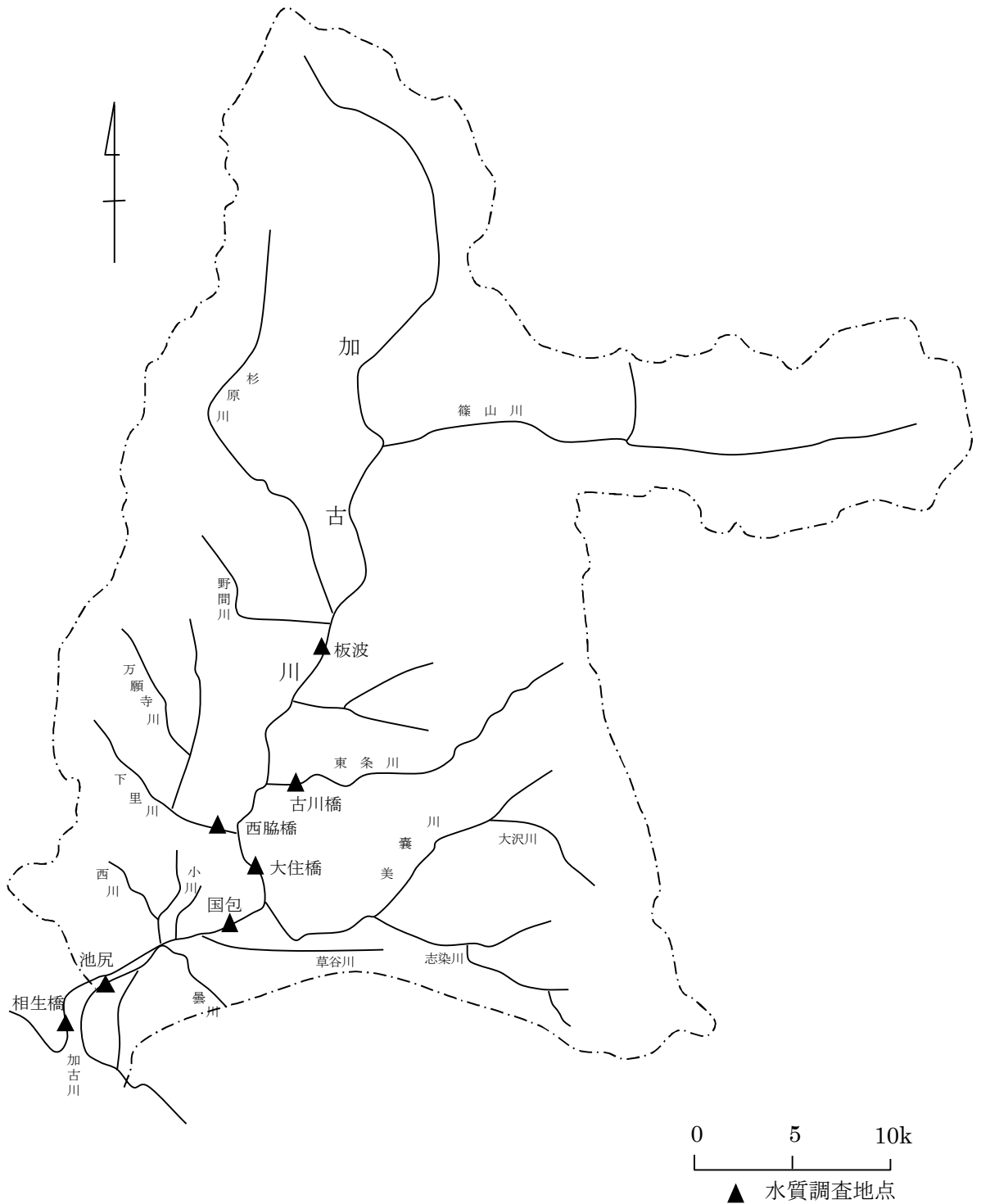
河川名	測定地点	実施機関	河川名	測定地点	実施機関
東条川	東条川最下流	加東市	美嚢川	別所橋	三木市
東条川	新橋	小野市	美嚢川	末広橋	三木市
東条川	誉田橋	小野市	美嚢川	上津橋	三木市
東条川	古川橋	小野市	美嚢川	久留美	三木市
東条川	小田井堰	小野市	美嚢川	東栄橋	三木市
杉原川	羽山橋	西脇市	美嚢川	里脇橋	三木市
杉原川	西脇大橋	西脇市	美嚢川	八幡橋	三木市
野間川	芳田橋	西脇市	淡河川	丹生橋	三木市
畑谷川	畑川橋	西脇市	志染川	岩宮	三木市
門柳川	津万井橋	西脇市	志染川	御坂	三木市
普光寺川	老生橋	加西市	志染川	吞吐ダム下流	三木市
普光寺川	古川橋	加西市	細目川	細目橋	三木市
下里川	下里橋	加西市	小川川	小川橋	三木市
下里川	田原橋	加西市	北谷川	小中橋	三木市
下里川	寿橋	加西市	吉川川	昭和橋	三木市
手前川	溝川橋	加西市	千鳥川	清水川	加東市
大谷川	折戸橋	加西市	千鳥川	大池川谷田橋	加東市
賀茂川	賀茂橋	加西市	千鳥川	谷川	加東市
下里川	平田橋	加西市	千鳥川	才ノ田南橋	加東市
新村川	流末	加西市	千鳥川	落合橋	加東市
善防川	葬礼橋	加西市	千鳥川	平安橋	加東市
段下川	鎮岩橋	加西市	千鳥川	新橋	加東市
手前川	手前橋	加西市	奥鹿野川	朝光寺橋	加東市
南村川	清水橋	加西市	鹿野川	宮下橋	加東市
油谷川	五領橋	加西市	三草川	三草橋	加東市

(一般市・町における水質測定地点)

河川名	測定地点	実施機関	河川名	測定地点	実施機関
吉馬川	永富橋	加東市	喜瀬川	野添橋	播磨町
吉馬川	大橋	加東市	大和川	花の宮橋上流	多可町
牧野川	牧野川	加東市			
大谷川	大谷川	加東市			
高倉川	高倉川	加東市			
油谷川	油谷川	加東市			
下川	田中橋	加東市			
出水川	福吉橋	加東市			
出水川	経川橋	加東市			
水田川	阿閑橋	播磨町			
喜瀬川	野添橋	播磨町			
杉原川	轟宮前橋	多可町			
杉原川	松井庄大橋	多可町			
杉原川	月ヶ花橋	多可町			
杉原川	安楽田橋	多可町			
杉原川	森本橋	多可町			
杉原川	後羽安井堰	多可町			
杉原川	朝日アルミ下流	多可町			
多田川	落合橋	多可町			
思出川	鍛冶屋寺所橋	多可町			
安田川	合流地点	多可町			
野間川	貴船浄化センター	多可町			
野間川	朝田井堰	多可町			
野間川	鳥井堰	多可町			
仕出原川	野口橋	多可町			

加古川水質測定地点（国土交通省）

加古川流域図



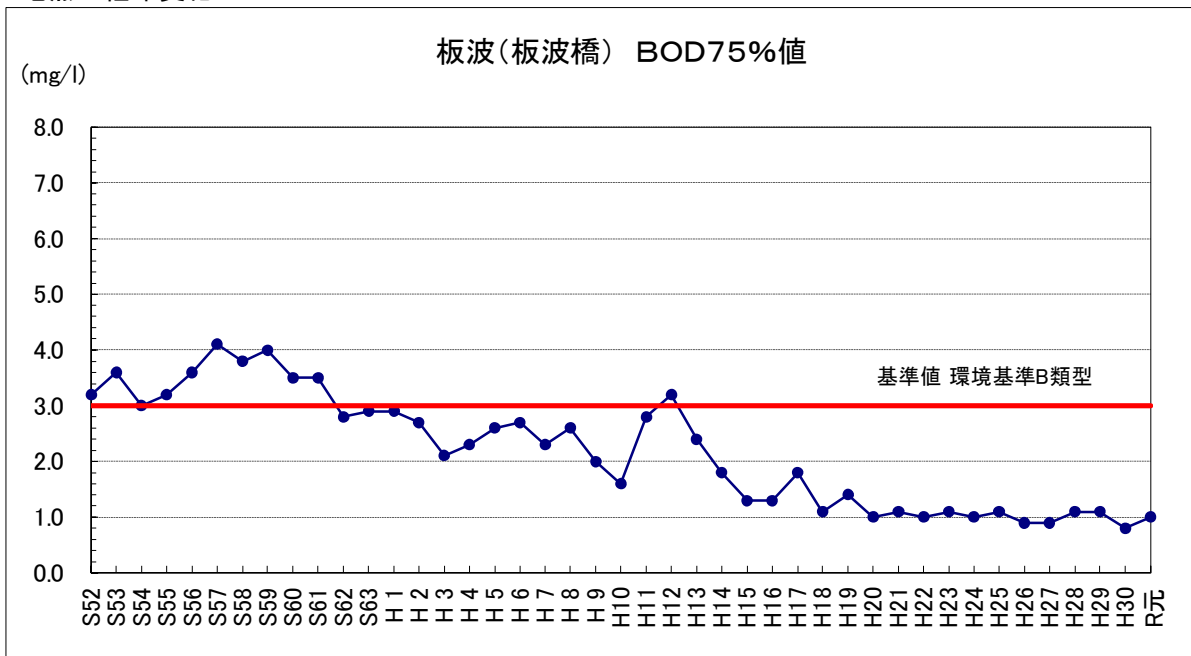
3) 測定結果

(1) 板波 (板波橋)

R元年観測結果

水系名	加古川			
河川名	加古川			
観測箇所名・類型	板波・B (環境基準地点)			
項目	最大	平均	最小	m/n
pH(水素イオン濃度指数)	8.6	7.9	7.5	1/ 12
BOD(生物化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	1.0	0/ 12
	(平均値)	1.7	0.9	
COD(化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	3.5	—
	(平均値)	4.3	3.1	
SS(浮遊物質) (mg/l)	8	5	1	0/ 12
DO(溶存酸素) (mg/l)	12.0	10.2	8.7	0/ 12
大腸菌群数 (MPN/100ml)	35000	9348	130	7/ 12
T-N(総窒素) (mg/l)	0.96	0.76	0.56	—
T-P(総リン) (mg/l)	0.100	0.065	0.035	—

地点の経年変化



生活環境の保全に関する環境基準の項目等の水質経年変化(年平均値(一部75%値))(H21~R元年)

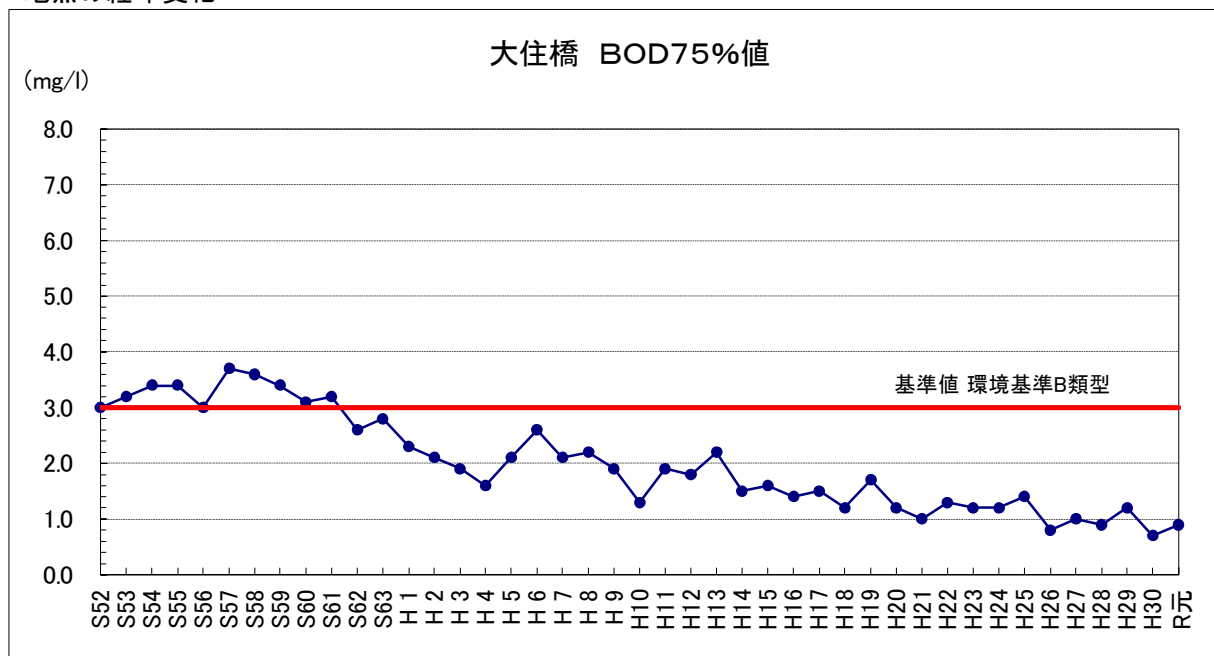
水系名	加古川												備考
河川名	加古川												
観測箇所名・類型	板波・B(環境基準地点)												
年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H21~H30 の平均	R元	H22~R元 の平均
pH	7.9	8.1	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	8.0	7.8	7.8	7.9	7.9	7.9
BOD (mg/l)	(75%値)	1.1	1.0	1.1	1.0	1.1	0.9	0.9	1.1	1.1	0.8	1.0	1.0
	(平均値)	0.9	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9
COD (mg/l)	(75%値)	3.5	3.9	3.8	3.3	3.3	3.4	2.9	3.3	3.2	2.7	3.3	3.3
	(平均値)	3.2	3.4	3.3	3.0	3.1	3.0	2.6	2.7	2.7	2.5	3.0	3.1
SS(mg/l)	6	8	10	5	5	4	6	4	4	3	5	5	5
DO(mg/l)	10.3	10.7	10.7	10.6	10.5	10.1	10.7	10.7	10.3	10.3	10.5	10.2	10.5
大腸菌群数(MPN/100ml)	18000	26000	7651	11000	5550	1534	4588	38030	7942	5435	12573	9348	11708
流量(m ³ /s)	32.99	33.76	34.53	28.89	44.22	欠測	35.24	25.31	25.31	25.31	31.73	25.31	30.88
T-N(mg/l)	1.01	0.90	0.95	0.86	0.87	0.73	0.62	0.64	0.71	0.70	0.80	0.76	0.77
T-P(mg/l)	0.053	0.066	0.063	0.060	0.054	0.057	0.053	0.056	0.060	0.059	0.058	0.065	0.059

(2) 大住橋

R元年観測結果

水系名		加古川			
河川名		加古川			
観測箇所名・類型		大住橋・B			
項目		最大	平均	最小	m/n
pH(水素イオン濃度指数)		8.3	7.8	7.5	0/ 4
BOD(生物化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	0.9	—	0/ 4
	(平均値)	1.3	1.0	0.7	
COD(化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	3.5	—	—
	(平均値)	4.1	3.4	2.8	
SS(浮遊物質) (mg/l)		5	5	3	0/ 4
DO(溶存酸素) (mg/l)		11.0	9.8	8.4	0/ 4
大腸菌群数 (MPN/100ml)		14000	8250	1100	2/ 4
T-N(総窒素) (mg/l)		1.10	0.72	0.57	—
T-P(総リン) (mg/l)		0.087	0.057	0.039	—

地点の経年変化



生活環境の保全に関する環境基準の項目等の水質経年変化(年平均値(一部75%値))(H21~R元年)

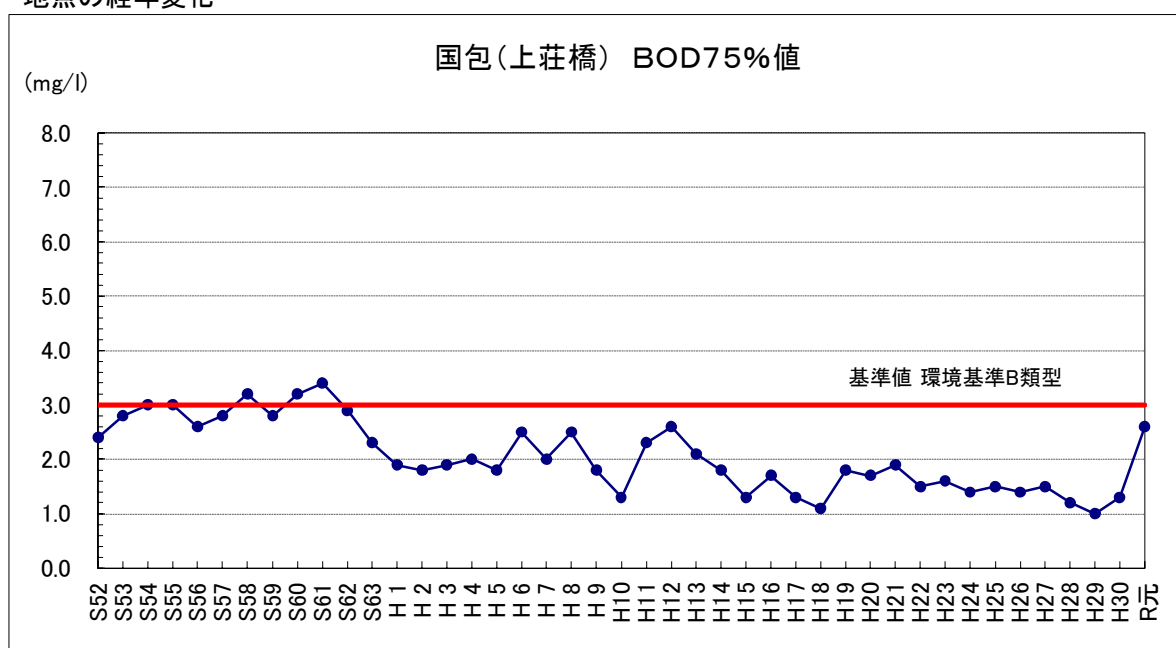
水系名		加古川												備考
河川名		加古川												
観測箇所名・類型		大住橋・B												
年		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H21~H30 の平均	R元	H22~R元 の平均
pH		8.3	8.0	7.9	7.7	7.7	7.8	8.1	7.7	7.7	7.7	7.9	7.8	7.8
BOD (mg/l)	(75%値)	1.0	1.3	1.2	1.2	1.4	0.8	1.0	0.9	1.2	0.7	1.1	0.9	1.1
	(平均値)	1.0	1.2	1.1	1.2	1.2	0.8	1.0	0.9	0.9	0.8	1.0	1.0	1.0
COD (mg/l)	(75%値)	3.6	4.6	4.2	3.4	4.0	3.2	3.3	3.0	3.5	2.9	3.6	3.5	3.6
	(平均値)	3.7	4.4	3.8	3.5	3.9	3.3	3.0	3.1	2.9	3.0	3.4	3.4	3.4
SS(mg/l)		5	8	8	5	9	5	6	5	5	4	6	5	6
DO(mg/l)		10.7	10.2	10.3	10.3	10.0	10.1	10.2	10.2	9.9	10.1	10.2	9.8	10.1
大腸菌群数(MPN/100ml)		15000	27000	8760	35000	12973	5350	1490	4173	7425	4398	12157	8250	11481.8
流量(m ³ /s)		37.30	53.30	52.86	39.40	46.64	欠測	60.15	16.91	16.91	16.91	37.82	16.91	35.55
T-N(mg/l)		0.89	0.96	0.92	0.82	0.90	0.76	0.56	0.66	0.68	0.73	0.79	0.72	0.77
T-P(mg/l)		0.048	0.067	0.062	0.059	0.074	0.056	0.041	0.060	0.052	0.061	0.058	0.057	0.059

(3) 国包(上荘橋)

R元年観測結果

水系名		加古川			
河川名		加古川			
観測箇所名・類型		国包・B			
項目		最大	平均	最小	m/n
pH(水素イオン濃度指数)		8.4	7.9	7.4	0/ 12
BOD(生物化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	2.6	—	2/ 12
	(平均値)	4.3	1.7	0.6	
COD(化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	5.0	—	—
	(平均値)	6.8	4.4	3.0	
SS(浮遊物質) (mg/l)		9.1	5	2.2	0/ 12
DO(溶存酸素) (mg/l)		12.0	9.7	7.5	0/ 12
大腸菌群数 (MPN/100ml)		13000	3015	330	2/ 12
T-N(総窒素) (mg/l)		1.10	0.95	0.74	—
T-P(総リン) (mg/l)		0.160	0.104	0.072	—

地点の経年変化



生活環境の保全に関する環境基準の項目等の水質経年変化(年平均値(一部75%値))(H21~R元年)

水系名		加古川												備考
河川名		加古川												
観測箇所名・類型		国包・B												
年		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H21~H30 の平均	R元	H22~R元 の平均
pH		8.1	7.9	7.8	7.8	7.8	7.9	7.8	7.8	7.7	7.8	7.8	7.9	7.8
BOD (mg/l)	(75%値)	1.9	1.5	1.6	1.4	1.5	1.4	1.5	1.2	1.0	1.3	1.4	2.6	1.5
	(平均値)	1.7	1.5	1.7	1.5	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	1.3	1.4	1.7	1.4
COD (mg/l)	(75%値)	5.0	4.5	4.7	4.0	4.7	4.8	3.9	4.2	4.2	4.0	4.4	5.0	4.4
	(平均値)	4.5	4.4	4.3	4.1	4.2	8.7	3.7	3.6	3.6	3.7	4.5	4.4	4.5
SS(mg/l)		5	7	5	5	6	5	6	4	4	4	5	5	5
DO(mg/l)		10.2	10.1	10.1	10.0	9.8	9.9	9.7	9.7	9.6	9.8	9.9	9.7	9.8
大腸菌群数(MPN/100ml)		4900	1500	9885	7100	9819	2991	2400	4567	6573	4542	5428	3015	5239
流量(m ³ /s)		39.40	47.79	56.50	39.99	51.09	45.42	57.50	55.87	55.87	55.87	50.53	55.87	52.18
T-N(mg/l)		1.03	1.03	1.13	1.03	1.01	0.90	0.88	0.81	0.88	0.88	0.96	0.95	0.95
T-P(mg/l)		0.070	0.080	0.090	0.092	0.081	0.086	0.085	0.084	0.086	0.085	0.084	0.104	0.087

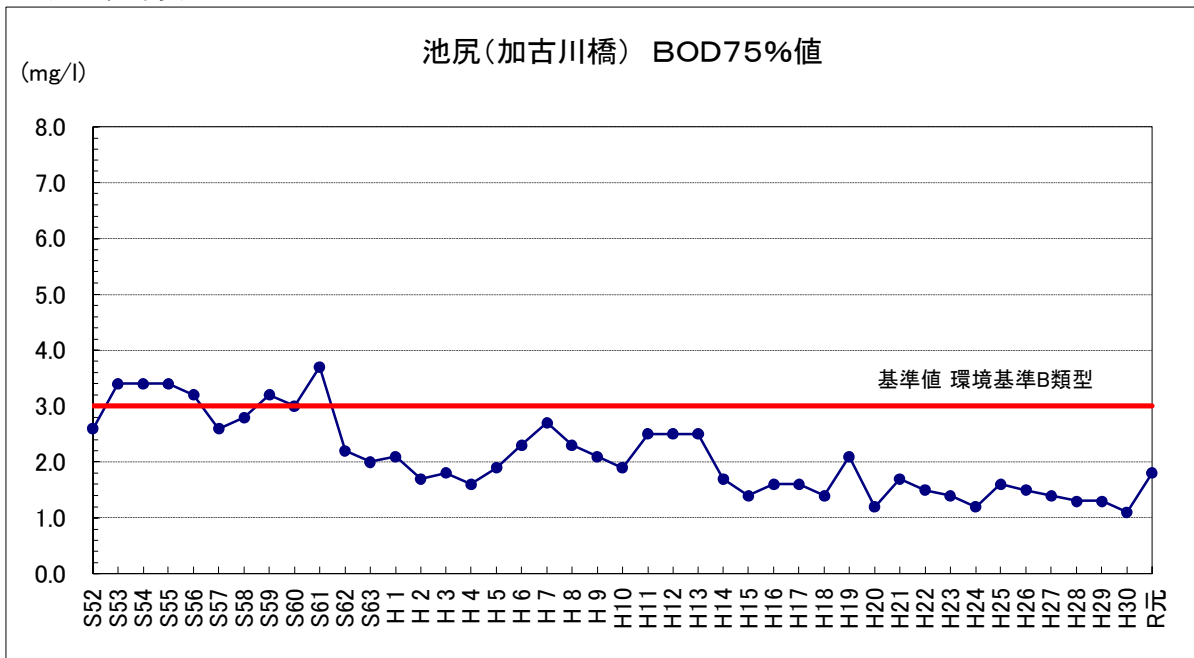
注) 流量は加古川大堰データによる

(4) 池尻(加古川橋)

R元年観測結果

水系名		加古川			
河川名		加古川			
観測箇所名・類型		池尻・B(環境基準地点)			
項目		最大	平均	最小	m/n
pH(水素イオン濃度指数)		9.0	8.1	7.5	2/ 12
BOD(生物化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	1.8	—	1/ 12
	(平均値)	3.4	1.4	0.6	
COD(化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	4.9	—	—
	(平均値)	6.3	4.4	3.1	
SS(浮遊物質) (mg/l)		10	6	1.9	0/ 12
DO(溶存酸素) (mg/l)		13.0	10.0	7.9	0/ 12
大腸菌群数 (MPN/100ml)		13000	4027	21	3/ 12
T-N(総窒素) (mg/l)		1.00	0.82	0.57	—
T-P(総リン) (mg/l)		1.000	0.823	0.570	—

地点の経年変化



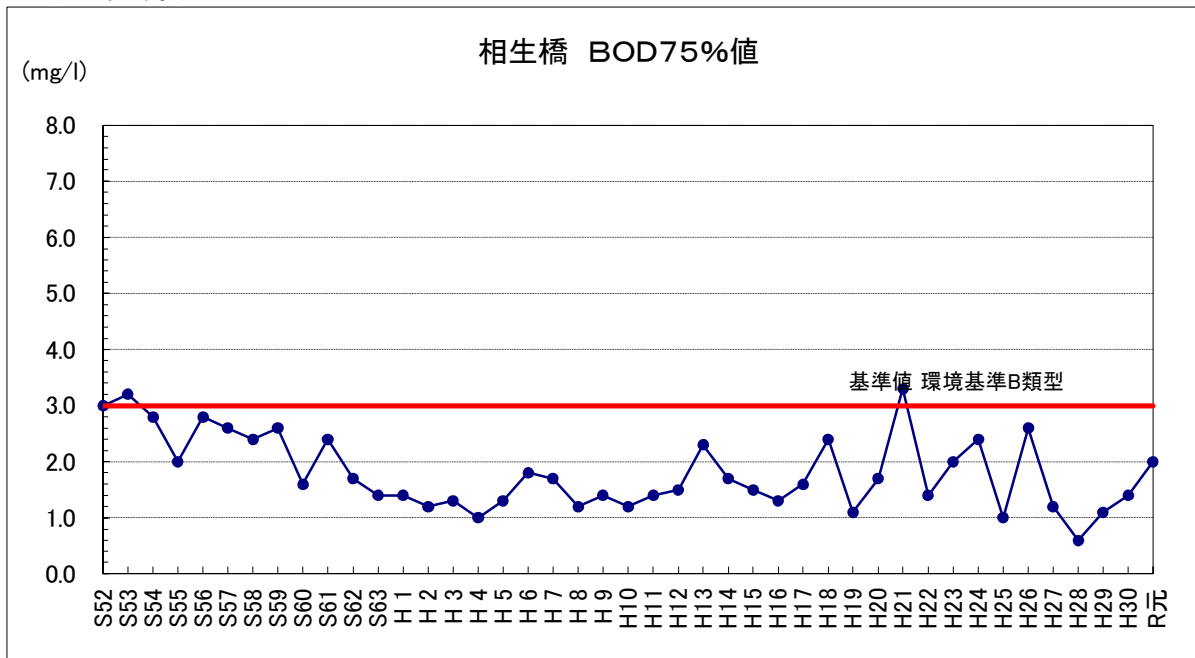
生活環境の保全に関する環境基準の項目等の水質経年変化(年平均値(一部75%値))(H21~R元年)

水系名		加古川											備考
河川名		加古川											
観測箇所名・類型		池尻・B(環境基準地点)											
年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H21~H30 の平均	R元	H22~R元 の平均
pH	8.4	8.2	7.9	7.9	7.9	8.0	7.8	7.9	7.8	7.9	8.0	8.1	7.9
BOD (mg/l)	(75%値)	1.7	1.5	1.4	1.2	1.6	1.5	1.4	1.3	1.3	1.1	1.4	1.8
	(平均値)	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.1	1.2	1.1	1.2	1.3	1.4
COD (mg/l)	(75%値)	4.8	4.9	4.7	4.2	4.5	5.0	3.9	4.2	4.1	4.1	4.4	4.9
	(平均値)	4.4	4.4	4.2	4.1	4.1	4.3	3.6	3.7	3.7	3.7	4.0	4.4
SS(mg/l)	7	7	6	6	7	6	7	6	6	5	6	6	6
DO(mg/l)	10.7	10.3	10.0	10.2	10.3	10.2	10.1	10.0	10.1	10.3	10.2	10.0	10.1
大腸菌群数(MPN/100ml)	7800	9600	3768	7100	11382	2303	2908	3708	5443	7025	6104	4027	5726
流量(m ³ /s)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T-N(mg/l)	0.86	0.92	1.01	0.93	0.94	0.81	0.77	0.72	0.82	0.82	0.86	0.82	0.86
T-P(mg/l)	0.061	0.067	0.076	0.079	0.070	0.073	0.067	0.069	0.075	0.073	0.071	0.823	0.147

(5) 相生橋
R元年観測結果

河川名		加古川			
観測箇所名・類型		加古川 相生橋・B			
項目		最大	平均	最小	m/n
pH(水素イオン濃度指数)		8.0	7.9	7.7	0/ 4
BOD(生物化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	2.0	—	1/ 4
	(平均値)	3.2	1.5	0.4	
COD(化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	4.5	—	—
	(平均値)	5.7	4.7	4.2	
SS(浮遊物質) (mg/l)		5	4	2	0/ 4
DO(溶存酸素) (mg/l)		12.0	10.4	8.8	0/ 4
大腸菌群数 (MPN/100ml)		4900	1760	49	0/ 4
T-N(総窒素) (mg/l)		1.00	0.70	0.57	—
T-P(総リン) (mg/l)		0.120	0.073	0.046	—

地点の経年変化



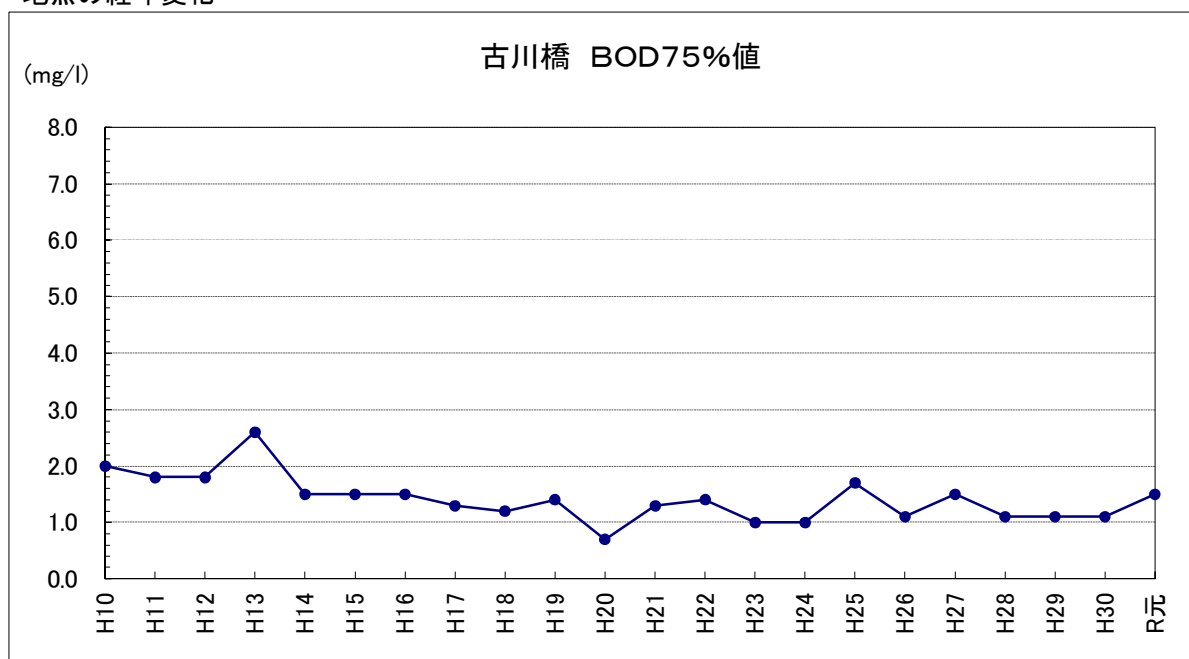
生活環境の保全に関する環境基準の項目等の水質経年変化(年平均値(一部75%値))(H21~R元年)

水系名	加古川													備考
	加古川 相生橋・B													
年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H21~H30 の平均	R元	H22~R元 の平均	
pH	8.2	8.1	8.0	7.9	7.9	7.9	7.9	7.8	7.8	7.9	7.9	7.9	7.9	
BOD (mg/l)	(75%値)	3.3	1.4	2.0	2.4	2.4	2.6	1.2	0.6	1.1	1.4	1.8	2.0	
	(平均値)	2.6	1.4	1.9	1.5	1.5	1.9	1.4	1.0	0.9	1.2	1.5	1.4	
COD (mg/l)	(75%値)	4.8	3.5	3.8	3.5	3.5	5.0	4.2	3.0	3.6	3.4	3.8	4.5	
	(平均値)	4.5	3.5	3.5	3.6	3.6	4.6	3.8	3.0	3.5	3.3	3.7	3.7	
SS(mg/l)	7	5	6	5	5	6	5	5	6	4	5	4	5	
DO(mg/l)	8.7	8.1	8.1	9.1	9.1	9.2	9.3	9.4	9.6	9.6	9.0	10.4	9.2	
大腸菌群数(MPN/100ml)	450	710	2174	1400	1400	650	12350	1195	14575	1162	3607	1760	3738	
流量(m ³ /s)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
T-N(mg/l)	0.57	0.50	0.66	0.63	0.63	0.69	0.68	0.65	0.78	0.71	0.65	0.70	0.66	
T-P(mg/l)	0.061	0.055	0.060	0.060	0.060	0.061	0.051	0.064	0.071	0.064	0.061	0.073	0.062	

(6) 古川橋
R元年観測結果

水系名		加古川		
河川名		東条川		
観測箇所名・類型		古川橋		
項目		最大	平均	最小
pH(水素イオン濃度指数)		8.1	7.9	7.5
BOD(生物化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	1.5	—
	(平均値)	1.5	1.4	1.0
COD(化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	5.5	—
	(平均値)	6.6	5.7	5.2
SS(浮遊物質) (mg/l)		32	14	5
DO(溶存酸素) (mg/l)		12.0	10.0	8.0
大腸菌群数 (MPN/100ml)		—	—	—
T-N(総窒素) (mg/l)		1.00	0.82	0.72
T-P(総リン) (mg/l)		0.140	0.092	0.057

地点の経年変化



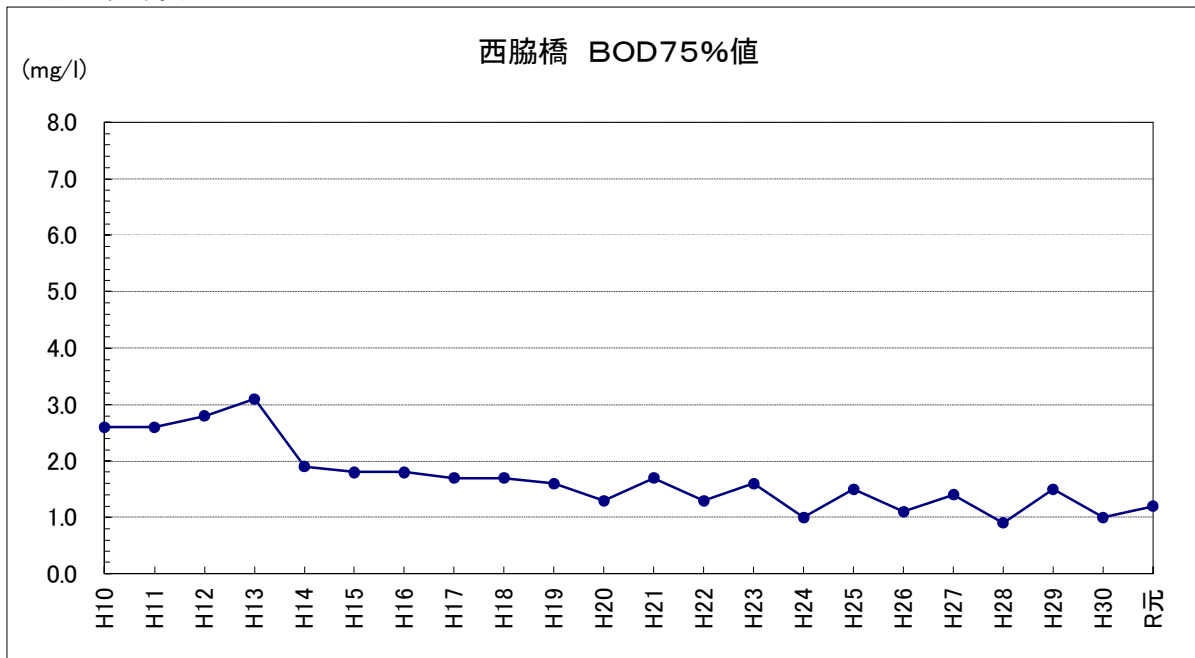
生活環境の保全に関する環境基準の項目等の水質経年変化(年平均値(一部75%値))(H21~R元年)

水系名	加古川													備考
	東条川													
河川名	古川橋													
観測箇所名・類型														
年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H21~H30 の平均	R元年	H22~R元年 の平均	
pH	8.4	8.5	8.0	7.8	7.9	7.8	7.9	7.7	7.8	7.7	7.9	7.9	7.9	
BOD (mg/l)	(75%値)	1.3	1.4	1.0	1.0	1.7	1.1	1.5	1.1	1.1	1.1	1.2	1.5	
	(平均値)	1.1	1.2	1.0	1.0	1.5	1.1	1.4	1.2	1.2	1.1	1.2	1.4	
COD (mg/l)	(75%値)	5.0	6.1	4.7	4.7	5.4	4.5	4.8	5.0	4.7	4.4	4.9	5.5	
	(平均値)	5.0	5.4	4.7	4.6	5.6	4.6	4.7	4.9	4.5	4.3	4.8	5.7	
SS(mg/l)	4	4	4	5	11	5	5	7	6	5	6	14	7	
DO(mg/l)	10.5	10.4	10.2	10.0	10.0	10.1	10.2	9.9	10.2	10.1	10.2	10.0	10.1	
大腸菌群数(MPN/100ml)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
流量(m ³ /s)	2.07	4.14	欠測	欠測	欠測	欠測	4.63	0.98	0.98	0.98	2.30	0.98	2.12	
T-N(mg/l)	0.51	0.65	0.66	0.60	0.64	0.52	0.43	0.47	0.60	0.62	0.57	0.82	0.60	
T-P(mg/l)	0.060	0.071	0.066	0.076	0.102	0.063	0.054	0.079	0.076	0.081	0.073	0.092	0.076	

(7) 西脇橋
R元年観測結果

水系名		加古川		
河川名		万願寺川		
観測箇所名・類型		西脇橋		
項目		最大	平均	最小
pH(水素イオン濃度指数)		8.1	8.1	8.0
BOD(生物化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	1.2	—
	(平均値)	1.5	1.2	1.0
COD(化学的酸素要求量) (mg/l)	(75%値)	—	4.5	—
	(平均値)	5.7	4.7	4.2
SS(浮遊物質) (mg/l)		10	6	3
DO(溶存酸素) (mg/l)		12.0	10.4	8.8
大腸菌群数 (MPN/100ml)		—	—	—
T-N(総窒素) (mg/l)		1.00	0.70	0.57
T-P(総リン) (mg/l)		0.120	0.073	0.046

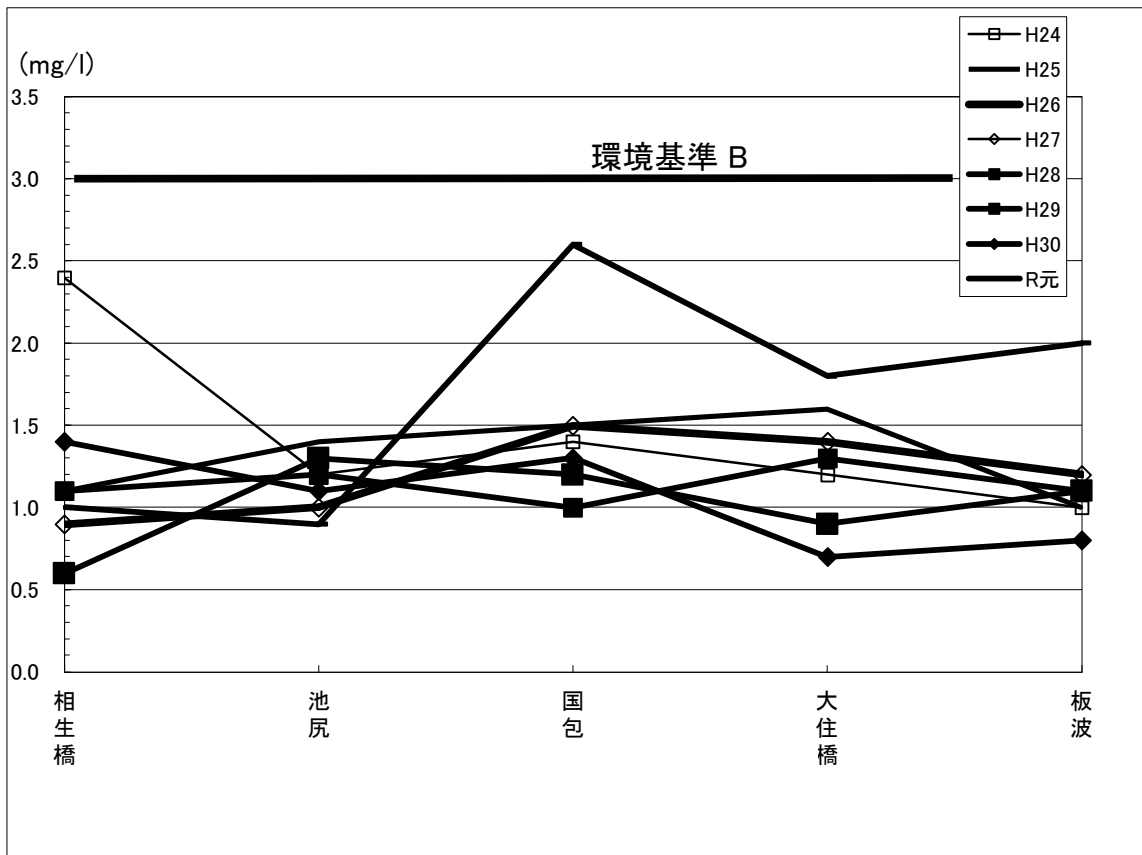
地点の経年変化



生活環境の保全に関する環境基準の項目等の水質経年変化(年平均値(一部75%値))(H21~R元年)

水系名	加古川													備考
	万願寺川													
河川名	西脇橋													
観測箇所名・類型														
年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H21~H30 の平均	R元年	H22~R元年 の平均	
pH	8.4	8.4	8.0	7.9	7.9	8.0	8.1	7.8	7.9	7.8	8.0	8.1	8.0	
BOD (mg/l)	(75%値)	1.7	1.3	1.6	1.0	1.5	1.1	1.4	0.9	1.5	1.0	1.2	1.3	
	(平均値)	1.4	1.6	1.3	1.0	1.4	1.0	1.4	1.0	1.3	1.2	1.3	1.2	
COD (mg/l)	(75%値)	5.0	4.7	4.1	4.0	5.3	3.9	3.9	3.5	4.5	4.1	4.3	4.5	
	(平均値)	4.6	5.0	4.4	3.8	4.8	3.9	3.9	3.9	4.3	4.0	4.3	4.7	
SS(mg/l)	4	5	5	3	11	3	4	3	7	5	5	6	5	
DO(mg/l)	11.7	11.6	10.7	10.3	10.1	10.9	11.2	10.6	10.7	10.4	10.8	10.4	10.7	
大腸菌群数(MPN/100ml)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
流量(m ³ /s)	3.54	4.89	欠測	4.00	4.62	2.70	4.41	1.82	1.82	1.82	3.29	1.82	3.10	
T-N(mg/l)	0.93	1.09	1.10	0.83	1.05	0.77	0.69	0.77	0.84	0.86	0.89	0.70	0.87	
T-P(mg/l)	0.051	0.060	0.068	0.056	0.097	0.053	0.054	0.085	0.071	0.081	0.067	0.073	0.070	

加古川水質縦断面図(BOD)75%値



4)その他の水質調査

(1)糞便性大腸菌群数調査結果

◆糞便性大腸菌群数1000個／100mlを超えるものは板波で1200個／100mlが一度測定された。

病原微生物汚濁の指標として糞便性大腸菌について、調査を実施した。環境省の基準では、糞便性大腸菌群数が1000個／100mlを超えるものは「水浴場として不適」と評価され、加古川では、1000個／100ml を超えるものは一度測定された。

糞便性大腸菌群数

単位:個/100ml

	板波	大住橋	国包	池尻	相生橋
H.31.01.09	72		38	4	
H.31.02.06	120	110	280	180	75
H.31.03.06	260		230	100	
H.31.04.17	28		110	63	
R.01.05.15	270	17	8	10	8
R.01.06.05	60		97	62	
R.01.07.03	90		130	100	
R.01.08.07	200	170	59	150	110
R.01.09.04	200		140	88	
R.01.10.02	1,200		63	48	
R.01.11.06	18	34	70	28	12
R.01.12.04	130		79	30	

(2) 水生生物による水質調査

令和元年 水生生物調査結果

水系名	加古川		河川名	加古川		地方局名	近畿地方整備局	
調査地点	福田橋上流		所在地	兵庫県加東市河高		調査日	2019年6月3日	
指標生物数 注) ○は、海水が少しまじっている汽水域の生物								
I きれいな水	数	II 少しきたない水	数	III きたない水	数	IV 大変きたない水	数	
アミカ類		○イシマキガイ		○イソコツブムシ類		アメリカザリガニ		
ナミウズムシ	4	オオシマトビケラ	38	タニシ類		エラミミズ		
カワゲラ類		カワニナ類		○ニホンドロソコエビ		サカマキガイ		
サワガニ		ゲンジボタル		シマイシビル		ユスリカ類		
ナガレトビケラ類		コオニヤンマ	4	ミズカマキリ		チョウバエ類		
ヒラタカゲロウ類	2	コガタシマトビケラ類	13	ミズムシ				
ブユ類		ヒラタドロムシ類	32					
ヘビトンボ		○ヤマトシジミ						
ヤマトビケラ類								
ヨコエビ類								
調査結果	II							

令和元年 水生生物調査結果

水系名	加古川		河川名	加古川		地方局名	近畿地方整備局	
調査地点	粟田橋左岸下流		所在地	兵庫県小野市王子町		調査日	2019年9月20日	
指標生物数 注) ○は、海水が少しまじっている汽水域の生物								
I きれいな水	数	II 少しきたない水	数	III きたない水	数	IV 大変きたない水	数	
アミカ類		○イシマキガイ		○イソコツブムシ類		アメリカザリガニ		
ナミウズムシ		オオシマトビケラ	359	タニシ類		エラミミズ	1	
カワゲラ類		カワニナ類		○ニホンドロソコエビ		サカマキガイ		
サワガニ		ゲンジボタル		シマイシビル	3	ユスリカ類	2	
ナガレトビケラ類		コオニヤンマ	2	ミズカマキリ		チョウバエ類		
ヒラタカゲロウ類	3	コガタシマトビケラ類		ミズムシ				
ブユ類		ヒラタドロムシ類	4					
ヘビトンボ		○ヤマトシジミ						
ヤマトビケラ類								
ヨコエビ類								
調査結果	II							

(2)水生生物による水質調査

水系名	加古川	河川名	加古川	地方局名	近畿地方整備局						
調査地点	加古川河口干潟	所在地	兵庫県高砂市高砂町向島町	調査日	2019年8月22日						
指標生物数				注) ○は、海水が少しまじっている汽水域の生物							
I	きれいな水	数	II	少しきたない水	数	III	きたない水	数	IV	大変きたない水	数
	アミカ類		○イシマキガイ	5	○イソコツブムシ類	3	アメリカザリガニ				
	ナミウズムシ		オオシマトビケラ		タニシ類		エラミミズ				
	カワゲラ類		カワニナ類		○ニホンドロソコエビ		サカマキガイ				
	サワガニ		ゲンジボタル		シマイシビル		ユスリカ類				
	ナガレトビケラ類		コオニヤンマ		ミズカマキリ		チョウバエ類				
	ヒラタカゲロウ類		コガタシマトビケラ類		ミズムシ						
	ブユ類		ヒラタドロムシ類								
	ヘビトンボ		○ヤマトシジミ								
	ヤマトビケラ類										
	ヨコエビ類										
調査結果		II									

令和元年 水生生物調査結果

水系名	加古川	河川名	加古川	地方局名	近畿地方整備局						
調査地点	大住橋上流	所在地	小野市下来住町	調査日	2019年8月17日						
指標生物数				注) ○は、海水が少しまじっている汽水域の生物							
I	きれいな水	数	II	少しきたない水	数	III	きたない水	数	IV	大変きたない水	数
	アミカ類		○イシマキガイ		○イソコツブムシ類		アメリカザリガニ				
	ナミウズムシ	○	オオシマトビケラ	○	タニシ類		エラミミズ				
	カワゲラ類		カワニナ類		○ニホンドロソコエビ		サカマキガイ				
	サワガニ		ゲンジボタル		シマイシビル		ユスリカ類				
	ナガレトビケラ類		コオニヤンマ		ミズカマキリ		チョウバエ類				
	ヒラタカゲロウ類		コガタシマトビケラ類	●	ミズムシ						
	ブユ類		ヒラタドロムシ類	●							
	ヘビトンボ		○ヤマトシジミ								
	ヤマトビケラ類										
	ヨコエビ類										
調査結果		II									

令和元年 水生生物調査結果

水系名	加古川	河川名	加古川	地方局名	近畿地方整備局		
調査地点	加古川大堰	所在地	加古川市八幡町中西条	調査日	2019年7月28日		
指標生物数				注) ○は、海水が少しまじっている汽水域の生物			
I きれいな水	数	II 少しきたない水	数	III きたない水	数	IV 大変きたない水	数
アミカ類		○イシマキガイ		○イソコツブムシ類		アメリカザリガニ	
ナミウズムシ	○	オオシマトビケラ	○	タニシ類		エラミミズ	
カワゲラ類		カワニナ類	○	○ニホンドロソコエビ		サカマキガイ	
サワガニ		ゲンジボタル		シマイシビル		ユスリカ類	
ナガレトビケラ類		コオニヤンマ		ミズカマキリ		チョウバエ類	
ヒラタカゲロウ類		コガタシマトビケラ類	●	ミズムシ	○		
ブユ類		ヒラタドロムシ類					
ヘビトンボ		○ヤマトシジミ					
ヤマトビケラ類							
ヨコエビ類							
調査結果	II						

令和元年 水生生物調査結果

水系名	加古川	河川名	草谷川	地方局名	近畿地方整備局		
調査地点	草谷川	所在地	加古川市八幡町中西条	調査日	2019年7月28日		
指標生物数				注) ○は、海水が少しまじっている汽水域の生物			
I きれいな水	数	II 少しきたない水	数	III きたない水	数	IV 大変きたない水	数
アミカ類		○イシマキガイ		○イソコツブムシ類		アメリカザリガニ	○
ナミウズムシ		オオシマトビケラ		タニシ類		エラミミズ	
カワゲラ類		カワニナ類		○ニホンドロソコエビ		サカマキガイ	○
サワガニ		ゲンジボタル		シマイシビル		ユスリカ類	
ナガレトビケラ類		コオニヤンマ		ミズカマキリ		チョウバエ類	
ヒラタカゲロウ類	○	コガタシマトビケラ類	●	ミズムシ	○		
ブユ類		ヒラタドロムシ類					
ヘビトンボ		○ヤマトシジミ					
ヤマトビケラ類							
ヨコエビ類							
調査結果	II						

4. 水質汚濁対策の現況

1) 環境基準

環境基準の類型指定については、加古川の利用目的、水質汚濁の状況及び水質汚濁の立地条件等を考慮して次のとおり設定されている。

加古川水域の水域類型指定

水 域	類型	達 成 期 間
加古川上流 (篠山川合流点より上流)	A	イ 直ちに達成
加古川下流 (篠山川合流点より下流)	B	ロ 5年以内で可及 的速やかに達成

2) 排水規制

工場、事業場の排水については、「水質汚濁防止法」に基づく排水基準が設けられている。県等では、この排水基準の遵守状況を監視するため、特定施設を設置する工場、事業場に対し立ち入り検査を実施し、必要な行政措置を取ると共に排水処理施設の維持管理の改善等について指導している。

また、瀬戸内海へ流入する地域に立地する工場、事業場（日最大排水量50m³以上）に対しては、「瀬戸内海環境保全特別措置法」に基づき特定施設の設置及び変更の許可等について審査、指導を行っている。

生活排水対策については、県では、公共用水域の水質保全と生活環境の高度化をめざし「生活排水99%大作戦」を展開し、平成17年度から平成21年度にかけては「生活排水99%フォローアップ作戦」による各種生活排水処理施設の整備を進めてきた結果、平成30年度末の加古川流域に関係する市町における生活排水処理率は99.1%となっている。

また、瀬戸内海の水質保全を図るため、県では「水質汚濁防止法」及び「瀬戸内海環境保全特別措置法」の規定に基づき、第1次から第7次にわたりCOD、窒素及びリンにかかる総量規制を実施し（窒素及びリンについては、第5次より追加。）、汚濁負荷量の削減を図ってきた。平成29年6月に第8次総量削減計画を策定しており、引き続き指導を行っていく。

3) 下水道整備状況

加古川流域内の市町における下水道の整備状況等について下表に示す。

これら市町の下水道整備は、神戸市、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市の6市は加古川流域下水道上流処理区、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の2市2町は加古川流域下水道下流処理区として整備している。また、神戸市、西脇市、三木市、高砂市、加東市の一部、篠山市、丹波市、多可町の7市1町は公共下水道として整備している。なお、三田市は、武庫川流域下水道上流処理区として整備している。

下水道整備状況 (※加古川流域以外の下水道整備も含む) (平成31年3月31日現在)

市町村名	行政面積 (ha)	行政人口 [A] (千人)	処理面積 (ha)	処理人口 [B] (千人)	普及率 B/A×100 (%)
神戸市※	55,702	1,532.9		1,513.8	98.8%
加古川市	13,848	264.8		241.8	91.3%
西脇市	13,244	40.7		34.0	83.5%
三木市	17,651	77.6		68.6	88.4%
高砂市	3,438	90.9		87.6	96.4%
小野市	9,294	48.6		42.2	86.8%
三田市※	21,032	112.4		98.6	87.7%
加西市	15,098	44.3		26.5	59.8%
丹波篠山市※	37,759	41.7		30.2	72.4%
稲美町	3,492	31.1		25.3	81.4%
播磨町	913	34.6		33.9	98.0%
加東市	15,755	40.1		34.2	85.3%
多可町	18,519	20.8		11.2	53.8%
丹波市※	49,321	64.4		34.9	54.2%
計	275,066	2,444.9		2,282.8	93.4%

(参考)

生活排水 処理人口 C (千人)	生活排水処理率 C/A×100 (%)
1,530.4	99.8%
251.3	94.9%
40.7	100.0%
75.5	97.3%
89.7	98.7%
48.3	99.4%
111.7	99.4%
44.2	99.8%
41.5	99.5%
30.6	98.4%
33.9	98.0%
39.9	99.5%
20.8	100.0%
63.9	99.2%
2,422.4	99.1%

注1) 行政面積は、国土地理院(平成27年10月1日)による。

注2) 行政人口は、住民基本台帳人口(平成31年3月31日現在)による

注3) 処理人口は、平成30年度末の値である。